令和６年６月吉日

各教育委員会教育長　様
各国・公・私立中学校長　様
各中学校技術・家庭科担当者　様
関　係　者　各　位

第６３回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会
千葉大会　　会　長　　榊原　英記

第６３回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会

千葉大会のご案内（最終案内）

令和６年１０月２４日（木）理事研修会・全体会　（オンライン開催）
２５日（金）分科会（県内９会場で参集型による開催）

【　研究主題　】

生活や技術を工夫し創造する実践的な態度の育成

～主体的・対話的で深い学びを通して～

【主題設定の理由】

授業改善を通して問題解決能力を育て、生徒の学びの自立を図る

将来の予測が困難な時代において、未来に向けて自らが社会の創り手となり、課題解決などを通じて、持続可能な社会を維持・発展させていくためには知識や技能と併せて主体性や協調性を持ち合わせた人材の育成が必要である。

また、調和と協調に基づき、個人や地域、社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるための教育の在り方が必要とされている。

そのためには「主体的・対話的で深い学び」のより一層の充実が必要であり、授業改善を通して問題解決能力の育成や、それを支える主体性や協調性、粘り強さなどの実践的な態度の育成が大切である。

本県では継続して、社会の変化に対応しつつ、主体的に課題に取り組む生徒の育成に取り組んできた。その研究成果を踏まえると同時に、更に今後の教育の在り方として、教師主導から生徒が主体となる授業への転換を図り、生徒が自分の手で課題を解決する力の育成（学びの自立）が必要であると考えている。

そこで、研究主題を「生活や技術を工夫し創造する実践的な態度の育成～主体的・対話的で深い学びを通して～」とし、それらを実現する手段として、授業改善のポイントをまとめた「１０の授業デザイン」を設定することにより、「主体的・対話的で深い学び」のより一層の充実と、生徒の学びの自立を図るため、授業改善に取り組んだ。

【大　会　開　催　要　項】

１　主　催

全日本中学校技術・家庭科研究会
関東甲信越地区技術・家庭科研究会
千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会

2　後　援

千葉県教育委員会　千葉市教育委員会　船橋市教育委員会　市川市教育委員会
佐倉市教育委員会　柏市教育委員会　我孫子市教育委員会　野田市教育委員会
鎌ケ谷市教育委員会　市原市教育委員会　南房総市教育委員会　館山市教育委員会
鴨川市教育委員会　鋸南町教育委員会　横芝光町教育委員会　千葉県中学校長会
千葉市中学校長会　公益財団法人全国中学校産業教育教材振興協会

3　日　程

＜第１日＞令和６年１０月２４日（木）　※全体会会場からオンライン開催

10:30 10:45　11:45　12:45 13:00　13:20　14:20　15:20　15:40

理事研修会		休憩	全体会				
受付	研修会		受付	開会式	提案発表 研究協議	指導助言	閉会式

＜第２日＞令和６年１０月２５日（金）　※県内９会場で参集型による開催

9:30 10:00　10:50 11:00　11:20　12:00　12:20　13:20　14:20　14:50　15:00

受付	公開授業		開会式	提案発表 研究協議 ＜千葉県＞	指導 助言	昼食 休憩	提案発表 研究協議 ＜他都県＞	指導 助言	閉会式

移動・休憩

※第１分科会及び、第７分科会は 14:00～14:10 閉会式、
第９分科会は 12:20～12:30 閉会式となります。

4　全体会

※オンライン開催	指導講評
本部会場　：ポートプラザちば 研究発表者：市原市立石塚小学校 渡邉宏幸 千葉市立打瀬中学校 藤本朱子 他都県発表：**山梨県**	文部科学省初等中等教育局教育課程課　教科調査官 国立教育政策研究所　教育課程研究センター 研究開発部　教育課程調査官　渡邊　茂一　様 文部科学省初等中等教育局教育課程課　教科調査官 国立教育政策研究所　教育課程研究センター 研究開発部　教育課程調査官　熊谷有紀子　様

5　分科会

第1分科会　A材料と加工の技術 会場校:佐倉市立佐倉中学校 佐倉市城内町 117-10 043-484-1026 授業者:藤田展彰　技術分野作品展会場 研究発表 ：白井市立大山口中学校　山本泰司 助言者:　千葉大学助教　田邊　純 千葉県教育庁北総教育事務所指導主事　加藤恒樹 他都県発表:東京都	【授業の見どころ】　身の回りを豊かにする木工作品をイメージするために、バーチャル空間を利用し、自宅の問題点を見出し、解決するための模型を組み立てた。授業では、グループ内でアドバイスを参考に修正点、改善点を見出す。 【研究の概要】 個別最適な学びと協働的な学びの場を設定することで、主体的に問題を見出し課題解決する力を育て、製作工程を考えたり、修正したりすることができる授業の研究を進めている。
第2分科会　B生物育成の技術 会場校:千葉市立花見川中学校 千葉市花見川区花見川 6-2 043-259-3580 授業者:平野泰博 研究発表:　千葉市立蘇我中学校　菅　整 助言者:　千葉大学教授　辻　耕治 千葉市教育委員会教育改革推進課指導主事　大橋　宏嗣 他都県発表:栃木県・長野県	【授業の見どころ】 ミニトマトの特性を活用して、味覚や栽培時期が工夫されていることについての学習や micro:bit を活用した栽培活動を経て、自らの栽培活動の評価と生物育成の技術に関する社会的な問題について、技術の見方・考え方を働かせて考える授業を提案する。 【研究の概要】 未来社会とのかかわり方を主体的に考え、実践しようとする態度を「未来社会を支える資質・能力」とし、その育成のための要を「技術の仕組みの理解」と捉えて研究を進めている。

第3分科会　Cエネルギー変換の技術

会場校:南房総市立富浦中学校

南房総市富浦町青木 249-1
0470-33-2075

授業者:　山田裕也

研究発表:　館山市立館山中学校　白井　隆太

助言者:　千葉大学教授　板倉　嘉哉

千葉県教育庁南房総教育事務所指導主事　押元　和

他都県発表:埼玉県・神奈川県

【授業の見どころ】 社会の発展のためのエネルギー変換の技術の在り方や将来展望を考える活動を通して、実際に生徒が住む地域の持続可能な発展を実現するための手立てを考え、生徒が語る授業を行う。

【研究の概要】エネルギー変換の技術の視点から「未来の町」について語れる生徒の育成を目指し、学んだことを生かしよりよい生活や社会の構築に向けて考えられるよう、エネルギー変換の技術における見方・考え方を鍛え、工夫し創造しようとする実践的な態度を育成する学習過程を提案する。

第4分科会　D情報の技術

会場校:我孫子市立我孫子中学校

我孫子市高野山 537
04-7182-5191

授業者:　浅妻永一朗
我孫子市立布佐中学校

研究発表:　柏市立光ケ丘中学校　松本　亮
柏市立柏第五中学校　桑原　直弘

助言者:　千葉大学教授　飯塚　正明

柏市教育委員会児童生徒課指導主事　小松　靖

他都県発表:茨城県・山梨県

【授業の見どころ】　ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツとして、Smalrubyを利用して「対象者(高齢者・幼児)でも楽しめるゲーム」のプログラムを協働して制作する。

【研究の概要】 双方向性のあるコンテンツを活用したプログラミング学習において、「協働的な学び」、「問題解決を支援する手立ての工夫」、「問いを立てる(課題の設定)」に着目して授業の展開について研究を進めた。

第5分科会　A家族・家庭生活

会場校:野田市立川間中学校

野田市中里 136-1
04-7129-4025

授業者:　佐藤優香

研究発表:　鎌ケ谷市立第四中学校　椎名　美緒

助言者:　千葉大学准教授　安藤　藍

我孫子市立湖北台中学校教頭　長田さおり

他都県発表:埼玉県・神奈川県

【授業の見どころ】 地域の方との交流や体験を通して、地域が抱える課題に目を向ける。地域の一員として中学生の自分ができることについて考え、課題解決に向けて実践の計画を立てる授業を展開する。生徒が自分自身の意識や知識の変容に気づけるワークシートの工夫を行う。

【研究の概要】 地域の人々と協働し既習の知識及び生活経験を踏まえ、地域の一員としてできることを計画・実践・評価・改善し、今後の生活を展望して、課題解決に向け自ら工夫し創造する生徒の育成を目指す授業を提案する。

第6分科会　B衣食住の生活(食生活)

会場校:千葉市立朝日ケ丘中学校

千葉市花見川区朝日ケ丘 2-4-1
043-273-6651

授業者:　榎本優希

家庭分野作品展会場

研究発表:千葉市立加曽利中学校　矢内　美佳
千葉市立幕張中学校　中村　聡未

助言者:　千葉大学教授　米田　千恵

千葉市教育委員会教育指導課主任指導主事　鳥羽　波峰

他都県発表:栃木県・長野県

【授業の見どころ】 市内で作られている食材やだしを用いた調理実習から、各自が課題をもち、その解決に向けて自分の学習速度で進める「個別最適な学習」と相互に作用しながら学びを深める「協働的な学び」の一体化の充実を図る授業を展開する。

【研究の概要】 問題解決的な学習の工夫として、年間指導計画や題材構成を検討した。各題材の中で、ICTを活用する場面を効果的に設定したり、学習の見通しがもてるワークシートを工夫したりする学びの支援方法について提案する。

第7分科会　B衣食住の生活(衣生活)

会場校:市川市立東国分中学校

市川市東国分 3-5-1
047-371-5963

授業者:　髙瀬有規

研究発表:　市川市立第五中学校　竹内　優希
市川市立南行徳中学校　入江奈菜美

助言者:　千葉大学教授　谷田貝麻美子
市川市立塩焼小学校校長　吉田　直美

他都県発表:東京都

【授業の見どころ】 衣服の選択について、生活経験の少ない生徒が主体的に課題を設定し、解決に向け疑似体験や一人一台端末を効果的に活用した授業を展開する。

【研究の概要】 よりよい生活の実現に向け、生徒が生活の中から問題を見いだし、課題を設定し解決する力の育成を目指し、個別学習と協働学習を計画的に取り入れた授業改善について提案する。

第8分科会　C消費生活・環境 会場校:横芝光町立横芝中学校 山武郡横芝光町坂田池 3-1 0479-82-1245 授業者：秋葉弘江 研究発表：　横芝光町立光中学校　淺野　恭子 助言者：　千葉大学准教授　中山　節子 千葉県教育庁東上総教育事務所指導主事　時津　丈二 他都県発表:茨城県・山梨県	【授業の見どころ】　自分が設定した課題の実現に向けて、グループやクラスで共有し、よりよい改善策を見つけていく。仲間と対話しながら主体的に学ぶ生徒の姿をご覧ください。 【研究の概要】「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の場面を効果的に配置した。また、学習の振り返りを工夫することにより指導と評価の一体化を目指した。
第9分科会　教育課程(技術分野) 会場校:船橋市立法田中学校 船橋市藤原 7-46-1 047-438-3026 授業者：藤沼直大 研究発表：　船橋市立小室中学校　七戸亮太 助言者：　千葉大学准教授　木下　龍 船橋市教育委員会指導課副主査　白土幸子	【授業の見どころ】 3DCAD で設計したレザースタンプを、3D プリンタで出力し、レザーに刻印して作品を作成する。本時の授業展開では、より正確に刻印するために、データの改善案を協働的に見出し、設計を改善していく様子をご覧ください。 【研究の概要】 技術分野の学習において、一人一台端末を活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるために、教育課程を検討し、生徒の学び方を工夫した実践内容について提案する。

6　大会参加費　４０００円

7　参加申し込み

千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会のホームページ「GI☆KA CHIBA」内の、「第６３回関東甲信越地区技術・家庭科研究大会 千葉大会２０２４ 特設サイト」から、申し込みをしてください。右の二次元コードを読み取ると直接、特設サイトにアクセスできます。

申し込み受付期間　７月１６日（火）～９月１３日（金）

GI☆KA CHIBA
千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会
http://ajgika.ne.jp/~gikachiba/

関東甲信越地区技術・家庭科研究大会
千葉大会　２０２４　特設サイト
https://ajgika.ne.jp/~gikachiba/

8　その他

・　**１０月２５日（金）**に次の２会場で**関東甲信越地区千葉大会生徒作品展**を開催いたします。

技術分野：第１分科会　会場（佐倉市立佐倉中学校）

家庭分野：第６分科会　会場（千葉市立朝日ケ丘中学校）

※ 詳細は、上記特設サイト内の作品展開催要項でご確認ください。

・　ご不明な点がありましたら、千葉県教育研究会技術・家庭科教育部会事務局までお問合せください。

第63回関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究大会
千葉大会　会長
千葉市立末広中学校　校長　榊原　英記
〒260-0843　千葉市中央区末広 2-10-1
TEL　043-265-1818
FAX　043-268-4794
e-mail　hideki0266@city.chiba.lg.jp

千葉県教育研究会　技術・家庭科教育部会
事務局　市原市立ちはら台南中学校
事務局長　教頭 古屋 義和
〒290-0142　千葉県市原市ちはら台南 5-3
TEL　0436-52-1781
FAX　0436-52-0261
e-mail　gika_chiba@yahoo.co.jp